



受賞作品

<p>第72回 野間文芸賞 『人外』 松浦 寿輝 // 著 (F マツ)</p>	<p>アラカシの枝の股からしみだし、四足獣のかたちをとった「それ」は、荒廃した世界の風景を横切り…。ゆくてに待ち受けるのは、いったい何か? 世界のへりをめぐるよるべない魂の旅を描く小説。</p>
<p>第41回 野間文芸新人賞 『神前酔狂宴』 古谷田 奈月 // 著 (F コヤ)</p> <p>『デッドライン』 千葉 雅也 // 著 (F チバ)</p>	<p>神社の結婚披露宴場で働く浜野、梶、倉地。配膳スタッフとして日々披露宴の「茶番」を演じるうちに、神社の祀る神が明治日本の軍神であることを知り…。結婚、家族、日本という壮大な茶番を切り裂く。</p> <p>修士論文のデッドラインが迫るなか、大学院生の「僕」は「動物になること」と「女性になること」の線上で煩悶…。21世紀初めの東京を舞台にかけがえのない日々を描く、気鋭の哲学者による初小説。</p>
<p>第25回 中山義秀文学賞 『がいなもん 松浦武四郎一代』 河治 和香 // 著 (F カワ)</p>	<p>蝦夷地を6回にわたって踏破し、多数のアイヌの地名を記録。吉田松陰らの蝦夷地アドバイザーを務め、古稀記念に富士登山! 傑物にして奇人、“北海道の名付け親”松浦武四郎の生涯を描く。</p>
<p>第36回 織田作之助賞 『トリニティ』 窪 美澄 // 著 (F クボ)</p>	<p>50年前、出版社で出会った3人の女たちが半生をかけ、何を代償にしても手に入れようとした<トリニティ=かけがえのない3つのもの>とは? 昭和・平成から未来へと繋ぐ希望を描く。</p>
<p>第23回 司馬遼太郎賞 『狼の儀 新犬養木堂伝』 林 新, 堀川 恵子 // 著 (281 イ)</p>	<p>日本に芽吹いた政党政治を守らんと、強権的な藩閥政治に抗し、腐敗した利権政治を指弾、増大する軍部と対峙し続け、5・15事件で凶弾に斃れた男・犬養木堂。政界の荒野を駆け抜けた孤狼の生涯を描く。</p>

ドラマ化作品

<p>山本周五郎ドラマ さぶ 出演: 杉野遥亮, 森永悠希 ほか 『さぶ』 山本周五郎長編全集 第3巻 山本 周五郎 // 著 (F ヤマ 3)</p>	<p>奉公先で出逢った、才気煥発な栄二と少し鈍いがまっすぐなさぶ。だが、身に覚えのない盗みの疑いで奉公先を放逐された栄二は、身を持ち崩して人足寄場へ送られ…。市井にあり、人間の本質を見つめ続けた山本周五郎の代表作。</p>
<p>やめるときも、すこやかなるときも 出演: 藤ヶ谷太輔, 奈緒 ほか 『やめるときも、すこやかなるときも』 窪 美澄 // 著 (F クボ)</p>	<p>忘れられるわけなんかない。僕が生まれて初めて結婚しようと思った相手のこと。大切な人の死を忘れられない男と恋の仕方を知らない女の、切なく不器用な恋の物語。</p>
<p>アリバイ崩し承ります 出演: 浜辺美波, 安田顕 ほか 『アリバイ崩し承ります』 大山 誠一郎 // 著 (F オオ)</p>	<p>時計にまつわる依頼は何でも受けるという美谷時計店。難事件を抱える捜査一課の新米刑事は、アリバイ崩しを依頼する。店主の美谷時乃は、謎を解き明かせるのか?</p>

映画化作品

<p>ラストレター 出演: 松たか子, 広瀬すず ほか 『ラストレター』 岩井 俊二 // 著 (F イワ)</p>	<p>君にまだずっと恋してるって言ったら信じますか? 亡くなった姉の未咲の代わりに同窓会に出た裕里は、初恋相手の鏡史郎と再会して…。2つの世代の恋愛を描く。</p>
---	--